

花川病院に入院されたことのある患者さんおよびそのご家族の方へ

当院では、下記の臨床研究を行っております。本研究の対象者に該当する方で、研究のためにご自身のデータが使用されることを望まれない場合やご不明な点がございましたら、お手数ですが末尾の担当者までお知らせください。

【研究課題】 高齢者における周波数解析を用いた静止立位制御の感覚重みづけ分析

【研究機関名及び自機関の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 医療法人 喬成会 花川病院

研究責任者 丸谷暁子・リハビリテーション部理学療法科・主任

【研究期間】

承認日～2027年3月31日

【対象となる方】

研究対象者は 2022年6月1日から2027年3月31日の間に、花川病院に入院された方です。

【研究目的・意義】

本邦は世界でも高齢化が進んでおり、75歳以上の後期高齢者に加え、90歳以上の超高齢が占める割合も年々増加しています。これらの方々が尊厳を保ち、安全安心な生活を送り、また、限りある財源を有効に活用し医療費を抑制するために、転倒を予防するのは重要であります。高齢者と超高齢者において転倒予防に必要な身体機能の一つとして、静止立位の安定性を担保することは重要です。一方で、その背景として、加齢に伴ってどのように高齢者と超高齢者で姿勢制御に利用する感覚情報の利用が変化するのかが十分に解明されていません。

この研究により、加齢における姿勢制御がより詳細に明らかになり、転倒予防についてよりきめ細やかな介入につながることを期待されます。

【研究の方法】

入院中に理学療法評価の一環として実施された床反力計で測定された静止立位の足圧中心のデータと電子カルテに格納された傷病名・年齢について調査します。開眼/閉眼、硬質の支持基底面/バランスパッドの軟質の支持基底面の条件別に解析・検討します。本研究では、各年代で静止立位における安定性の指標として足圧中心の速度・面積等、感覚情報の寄与の割合としてパワースペクトル密度、複雑性に関する指標としてサンプルエントロピーを算出し、検討します。本研究は花川病院の倫理審査委員会の承認（承認番号：花川倫23-026）に基づき行われます。

なお、研究計画書や研究の方法に関する資料を入手・閲覧して、研究内容を詳しくお知りになりたい場合は、末尾の連絡先にお問い合わせください。他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲でご提供させていただきます。

【個人情報の保護】

本研究に関わって収集される情報は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。取得した情報は、解析する前にあなたの氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、どなたのものか分からないように匿名化処理をします。

本研究のためにご自分（あるいはご家族）のデータを使用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先に、末尾に記載されております掲載日から60日以内にご連絡ください。研究に参加いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌などで公表します。

本研究は、花川病院倫理委員会の承認を受け、花川病院病院長の許可を受けて実施するものです。

本研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

2026年1月15日

【連絡・お問い合わせ先】

研究責任者：丸谷 暁子

連絡担当者：丸谷 暁子

〒061-3207 石狩市花川南7条5丁目2

医療法人 喬成会 花川病院

電話番号：0133-73-5311

Email: reha@kyouseikai.jp